

県央地域の医療再編についての 市民説明会

三条市医師会、三条市資料

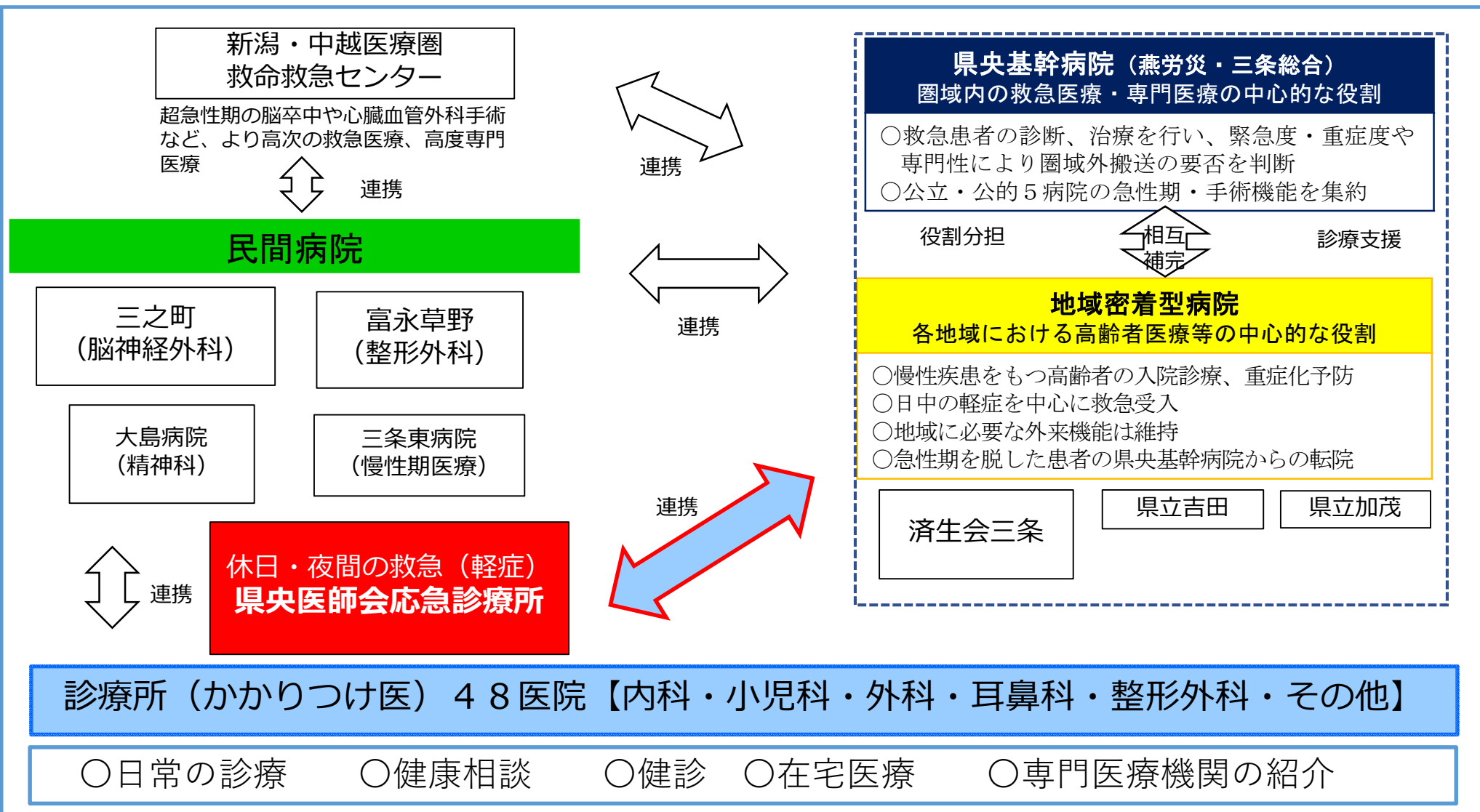
診療所（かかりつけ医）の 役割と受診について

- 1 県央基幹病院、周辺病院、診療所の機能分担と連携
- 2 診療所（かかりつけ医）の役割と受診
- 3 県央医師会応急診療所について
- 4 三条市医師会からのお願い

一般社団法人 三条市医師会

1-1 県央基幹病院と周辺病院、診療所との機能分担と連携

県央基幹病院だけでなく地域全体で協働して
住民が救急医療などに困らない、地域で安心して生活できる医療体制の構築を目指します。

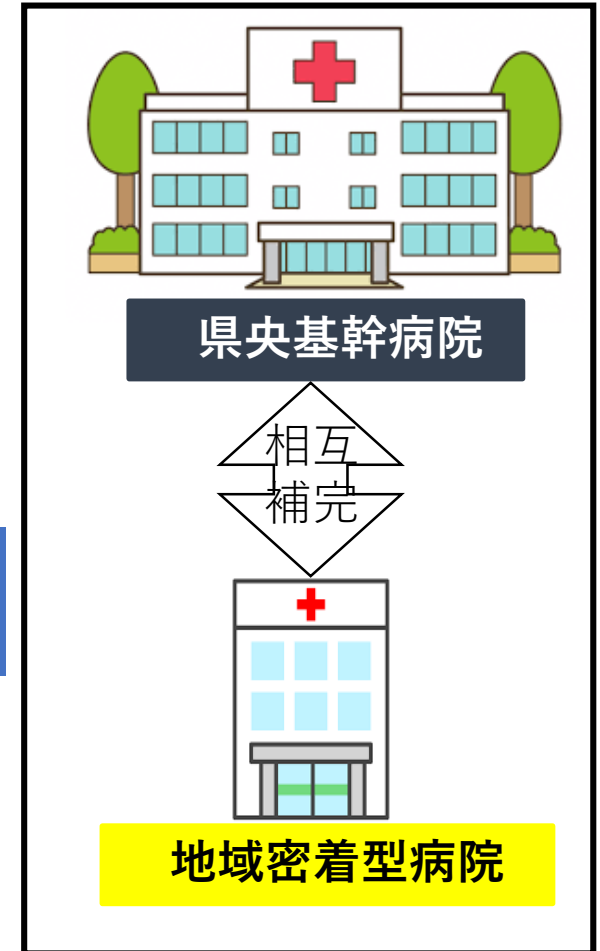
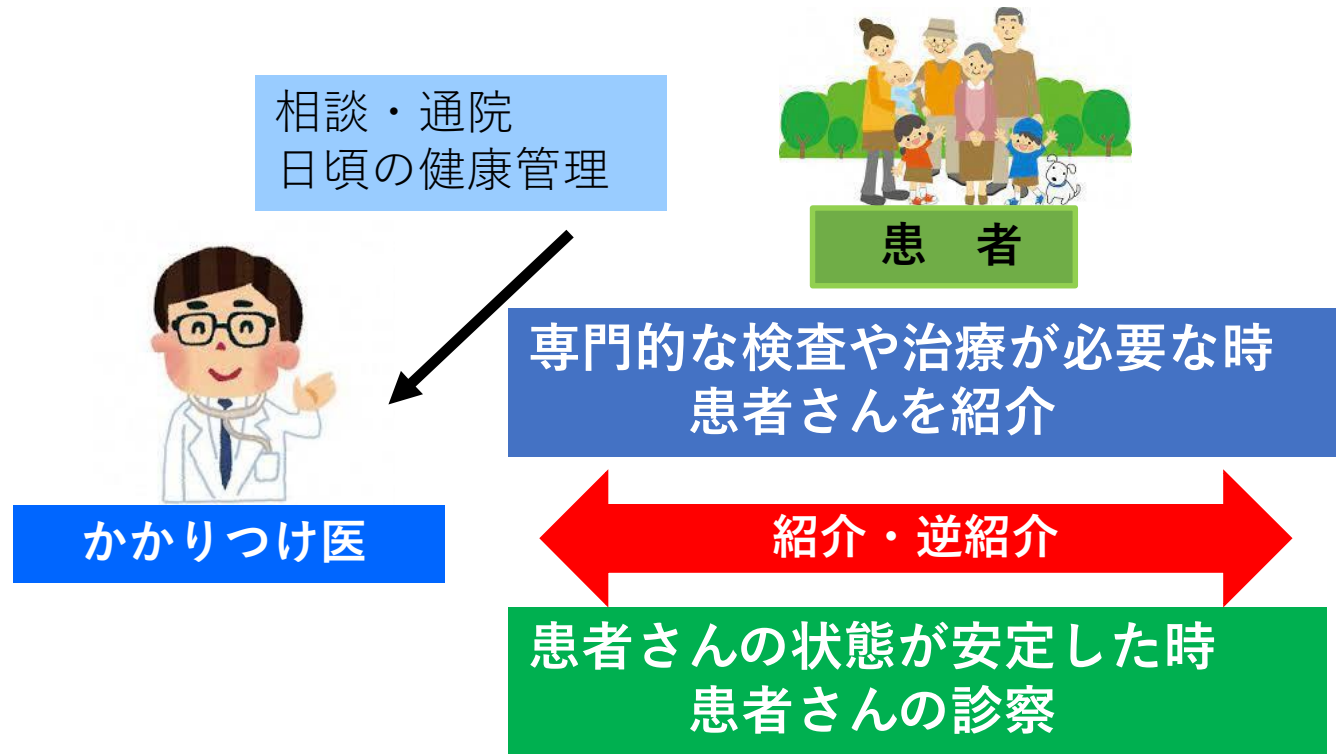


2-1 診療所(かかりつけ医)の役割と受診について

「かかりつけ医」とは

健康に関することをなんでも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のことを「**かかりつけ医**」と呼んでいます。

軽いけがや体の調子が悪くなったときは、まずは近くの診療所などの「**かかりつけ医**」を受診してください。



2-2-1 診療所(かかりつけ医)の役割と受診について

「かかりつけ医」Q&A

Q. 「かかりつけ医」を持つメリットは？

A. 気軽に受診して、様々な健康上の相談ができます。慢性的な病気の患者さんにとっては、継続した治療を受けやすくなります。また、精密検査や専門的な治療、入院などが必要な場合は、適切な病院等を紹介してくれます。

食事や運動など、日常の健康管理のアドバイスが受けられ、新たな病気の予防にもつながります。

Q. 「かかりつけ医」どうやってきめますか？

A. 「かかりつけ医」はご自身で選択できます。日常生活において健康の相談や体調が悪い時などに相談できるご自身が信頼できると思った医師を「かかりつけ医」に選んでください。

Q. 「かかりつけ医」何人でもいいのですか？

A. 「かかりつけ医」は複数で問題ありません。例えば、内科、眼科、皮膚科など、それぞれの診療科ごとに「かかりつけ医」を持つことができます。

2-2-2 診療所(かかりつけ医)の役割と受診について

Q. 「かかりつけ医」の紹介状とはなんですか？

A. 「かかりつけ医」が精密検査や専門的医療、高度医療を必要と判断したときに、適切な病院を紹介する場合に作成するのが「紹介状」です。正式には「診療情報提供書」と呼ばれています。

Q. 紹介状はなぜ必要なのですか？

A. 紹介状は医師が他機関の医師に患者を紹介する際に、患者の基本情報や症状、治療や投薬状況などを記載するもので、紹介状があれば引き継いだ医師は患者の容体を一から調べ直すことなく紹介状の情報を基に迅速に治療方針を決めることができます。

2-3-1 診療所(かかりつけ医)の役割と利用について

三条市内診療所（48診療所）

診療所名	診療科目	住 所	診療所名	診療科目	住 所
阿部内科・消化器科医院	内・消内	塚野目4-20-30	塚野目診療所	内・腎内・消内	塚野目2-9-54
あまの整形外科	整外	南四日町4-7-54	かわせメモリークリニック	脳内・内	東本成寺22-45
三条したた郷クリニック	内・外	荻堀1182-1	川瀬神経内科クリニック	脳内・内	東本成寺20-8
池田耳鼻科医院	耳・アレ	一ノ門1-13-15	としみ眼科医院	眼	嘉坪川1-1-12
石黒内科医院	内	西裏館1-10-46	桑原小児科医院	小	興野2-10-8
レディスクリニック石黒	産婦	荒町2-25-33	三条こどもクリニック	小・アレ	西本成寺2-4-24
いとうクリニック	内・消内	林町1-20-28	さいとう小児科	小・アレ	石上2-15-35
岩田眼科医院	眼	東裏館1-9-21	坂内小児科医院	小	南新保1-3
榎本外科医院	外・内・皮・肛外	西四日町1-3-11	新潟三条ささき内科・消化器内科クリニック	内・消内	興野1-18-3
榎本内科クリニック	消内・内	北新保1-1-28	さとう栄 整形外科クリニック	整外	西本成寺1-35-10
大溪外科医院	外・消内・肛外・皮	一ノ門2-2-35	篠田耳鼻咽喉科医院	耳・アレ	東本成寺21-38
奥田皮膚科クリニック	皮・アレ	鶴田2-1-15	こころのケア 三条クリニック	精・心内	鶴田2-1-10

診療科目説明：内→内科 呼内→呼吸器内科 循内→循環器内科 消内→消化器内科 胃内→胃腸内科 神内→神経内科 脳内→脳神経内科
 皮→皮膚科 アレ→アレルギー科 小→小児科 精→精神科 心内→心療内科 外→外科 泌→泌尿器科 肛外→肛門外科
 脳外→脳神経外科 整外→整形外科 眼→眼科 耳→耳鼻いんこう科 産婦→産婦人科

2-3-2 診療所(かかりつけ医)の役割と利用について

三条市内診療所（48診療所）

診療所名	診療科目	住 所	診療所名	診療科目	住 所
日戸医院	皮	島田1-1-19	藤崎医院	耳	西裏館1-8-8
ヒルズクリニック	内	月岡1-23-43	ふじみや耳鼻科クリニック	耳・アレ	興野1-3-9
田中内科クリニック	内・循内・小	須頃2-101-1	水野内科クリニック	内・循内・小	月岡1-23-48
たむら皮フ科クリニック	皮	東本成寺21-34	むとう医院	内・アレ・脳内	島田2-8-12
産科婦人科茅原クリニック	産婦	東本成寺12-14	東三条まもる眼科	眼	東三条1-15-23
津端内科医院	内・消内	南新保1-16	山口内科クリニック	内・消内・アレ	鶴田2-1-6-5
坪井内科医院	内・消内	本町3-6-14	内科・呼吸器内科山口医院	内・呼内	東本成寺12-1
といし整形外科クリニック	整外・リハ	荒町2-1-46	吉澤医院	内・小	西大崎1-9-28
どうや胃腸科	消内	興野1-6-46	三条眼科	眼	南四日町4-3-10
中川内科医院	内・糖内	東三条2-2-18	内科・消化器科 わたなべ医院	内・消内	西本成寺1-38-45
なかじま医院	内・呼内・アレ・ 小・消内	新堀1305-1	三条りゅうクリニック	泌・内	興野1-14-32
馬場内科医院	内・消内	東裏館2-16-12	富永草野クリニック	循内・内	興野2-11-28

診療科目説明：内→内科 呼内→呼吸器内科 循内→循環器内科 消内→消化器内科 胃内→胃腸内科 神内→神経内科 脳内→脳神経内科
 皮→皮膚科 アレ→アレルギー科 小→小児科 精→精神科 心内→心療内科 外→外科 泌→泌尿器科 肛外→肛門外科
 脳外→脳神経外科 整外→整形外科 眼→眼科 耳→耳鼻いんこう科 産婦→産婦人科

3 県央医師会応急診療所について

県央医師会応急診療所は、休日、夜間に軽症患者の診療を行っています。また、入院治療や高度な医療が必要な場合は他の病院を紹介します。

県央医師会応急診療所のご案内

診療科目	内科・小児科・外科・整形外科
受付時間	休日（日曜・祝日・お盆・年末年始） 9:00～12:00 13:00～16:30 19:00～21:30 平日・土曜日 19:00～21:30
所在地	三条市興野1丁目13番67号
開設者	県央四医師会 三条市医師会・燕市医師会・加茂市医師会・見附市南蒲原郡医師会
電話番号	0256-32-0909

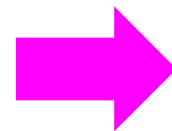
4 三条市医師会からのお願い

「**かかりつけ医**」は、健康に関することをなんでも相談できる、地域医療、保健、福祉を担う身近で頼りになる総合的な能力を有する医師です。

県央基幹病院が2024年3月に開院します。県央基幹病院の受診には基本的に医師の紹介状が必要になりますが、その時は「**かかりつけ医**」が紹介状を作成します。

安心して暮らし続けるために「**かかりつけ医**」を持ちましょう。

「**かかりつけ医**」の相談は



三条市医師会事務局
TEL 0256-32-6058

救急車の適切な利用について

三条市消防本部

- ・「救急出動が年々増加し、それに伴い救急車が現場に到着するまでの時間が長くなっています。」

参考 救急出動件数と現場到着所要時間（過去5年）

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出動件数	4,482件	4,381件	4,012件	4,170件	4,627件
現着平均	9.1分	8.7分	8.8分	9.6分	9.7分

- ・「救急搬送される約4割が入院を必要としない軽症の方です。」

参考 令和4年救急統計 傷病程度別搬送人員

区分 程度	計	割合
死 亡	108人	3.0%
重 症	607人	17.0%
中等症	1,330人	37.3%
軽 症	1,521人	42.6%
その他	2人	0.1%
合 計	3,568人	100%

- ・「約4割の方が診察時間外に救急搬送されています。」

参考 令和4年救急統計 時間帯別搬送人員

時間内	人員	2,232人
	割合	62.6%
時間外	人員	1,336人
	割合	37.4%
合 計	人員	3,568人
	割合	100%

※時間内 8:00～18:00・時間外 18:00～8:00

「救急車には限りがあります。症状が軽く、自分や家族等で病院に行ける場合は、診察時間内に受診しましょう。」

救急車を上手に使いましょう

～ 救急車 必要なのはどんなとき？～



〈 発行のねらい 〉

近年、救急車の出動件数・搬送人員数は増加傾向にあり、救急隊の現場までの到着時間も遅くなっています。

また、救急車で搬送された人の約半数が入院を必要としない軽症という現状もあります。

地域の限られた救急車を有効に活用し、緊急性の高い症状の傷病者にできるだけ早く救急車が到着できるようにするため、**救急車の適時・適切な利用**が必要です。

そこで、この度、皆様に上手に救急車を利用していただくため、「救急車を上手に使いましょう ～救急車 必要なのはどんなとき？～」を作成しました。この中には、

救急車を呼んだら用意しておくべきものなど「**救急通報のポイント**」、
重大な病気やけがの可能性のある「**ためらわず救急車を呼んでほしい症状**」、
実際に救急車を呼ぶ場合の「**救急車の呼び方**」などを載せていますので、
救急車を呼ぶべきかどうか判断に困った場合などに、活用していただければと思います。

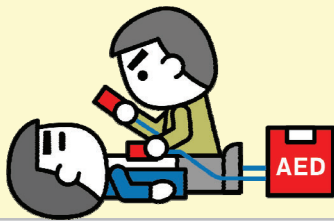
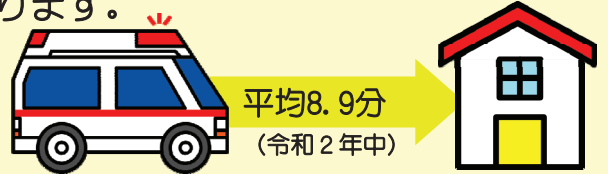
救急通報のポイント

救急車を呼ぶときの番号は「**119番**」です。

救える命を救うためには、**応急手当**が重要です。
応急手当が必要な場合は、119番通報を受けた通信指令員等から、適切な応急手当のお願いと、口頭での指導を行う場合があります。



救急車が到着するまではどうしても時間がかかります。
いざというときに、大切な方を救うためにも、**正しい応急手当**を身につけておきましょう。



お近くの消防署では**応急手当の講習**を行っています。
消防署の電話番号は、市役所等のホームページなどで調べることができます。

応急手当をしている人以外にも
人手がある場合は、
救急車の来そうなところまで案内に出ると
到着が早くなります。



救急車を呼んだら、**こんな物を用意しておく**と便利です。

- ・保険証や診察券
- ・お金
- ・靴
- ・普段飲んでいる薬 (おくすり手帳)



- (乳幼児の場合)
- ・母子健康手帳
- ・紙おむつ
- ・ほ乳瓶
- ・タオル



救急車が来たら、**こんなことを伝えて下さい**。

- ・事故や具合が悪くなった状況
- ・救急隊が到着するまでの変化
- ・行った応急手当の内容
- ・具合の悪い方の情報 (持病、かかりつけの病院やクリニック、普段飲んでいる薬、医師の指示等)

持病は●●●
かかりつけ病院は ▲▲▲病院
普段飲んでいる薬は ■■■

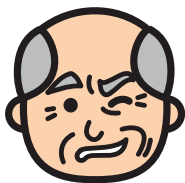
* 持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、日頃からメモにまとめておくとう便利です。

突然のこんな症状の時にはすぐ119番!!

高齢者

顔

- 顔半分が動きにくい、しびれる
- 笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい
- 見える範囲が狭くなる
- 周りが二重に見える



頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 急にふらつき、立ってられない

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 旅行などの後に痛み出した
- 痛む場所が移動する

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 血を吐く

手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる



意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)

けいれん

- けいれんが止まらない

けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど



吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 物をのどにつまらせた

事故

- 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた



◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合◎
 高齢者は自覚症状が出にくい場合もありますので注意しましょう。

迷ったら「かかりつけ医」に相談しましょう!

※発熱等の症状がある場合は、新型コロナウイルスに関する受診・相談センターに電話相談するか、速やかに発熱外来／かかりつけ医／地域外来・検査センターを受診しましょう。

※さらに、119番通報などの判断に迷った時は、お近くの救急相談窓口（#7119等）にご相談下さい。

重大な病気やけがの可能性があります!

おとな

顔

- 顔半分が動きにくい、または、しびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくく、うまく話せない
- 見える範囲が狭くなる
- 突然、周りが二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないぐらい急にふらつく

胸や背中

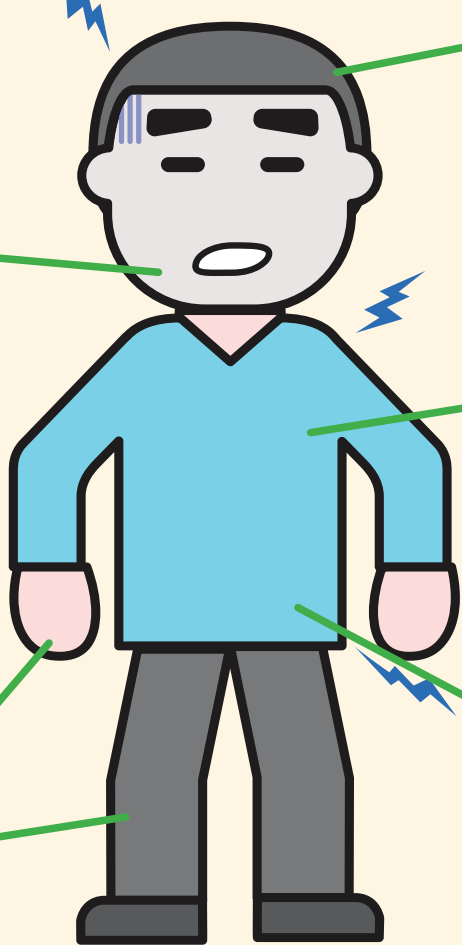
- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
- 痛む場所が移動する

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 激しい腹痛が持続する
- 血を吐く
- 便に血が混ざるまたは、真っ黒い便が出る

手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる



意識の障害

- 意識がない（返事がない）またはおかしい（もうろうとしている）
- ぐったりしている

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

飲み込み


- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

事故

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた



◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

※発熱等の症状がある場合は、新型コロナウイルスに関する受診・相談センターに電話相談しましょう。
 （特に、妊婦や基礎疾患がある方については、発熱等の症状がある場合は、新型コロナウイルスに関する受診・相談センターに電話相談するか、速やかに発熱外来／かかりつけ医／地域外来・検査センターを受診しましょう。）

※さらに、119番通報などの判断に迷った時は、お近くの救急相談窓口（#7119等）にご相談下さい。

こんなときにはすぐに119番!!

こども（15歳以下）

顔

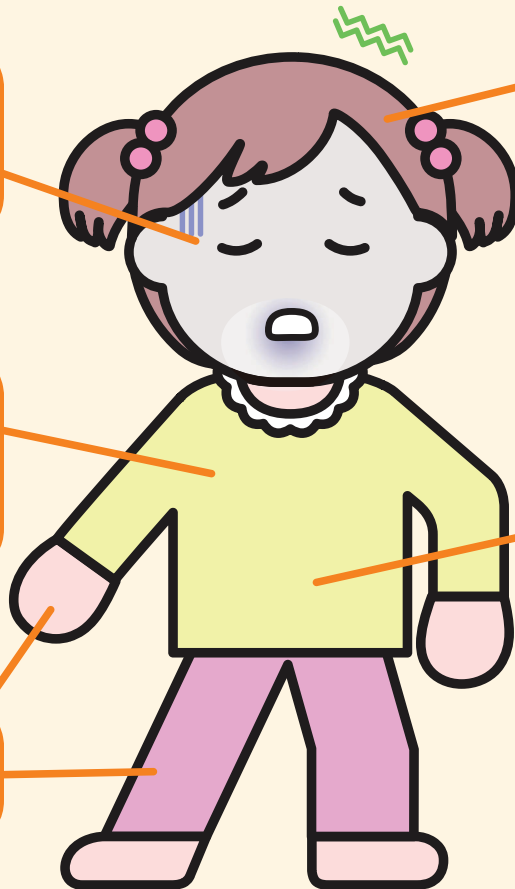
- くちびるの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い

手・足

- 手足が硬直している



頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがる
- 嘔吐が止まらない
- 便に血がまじった

意識の障害

- 意識がない（返事がない）
またはおかしい
（もうろうとしている）

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

飲み込み

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

じんましん

- 虫に刺されて
全身にじんましんが出て、
顔色が悪くなった



やけど

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど



事故

- 交通事故にあった
（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた



生まれて3カ月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい

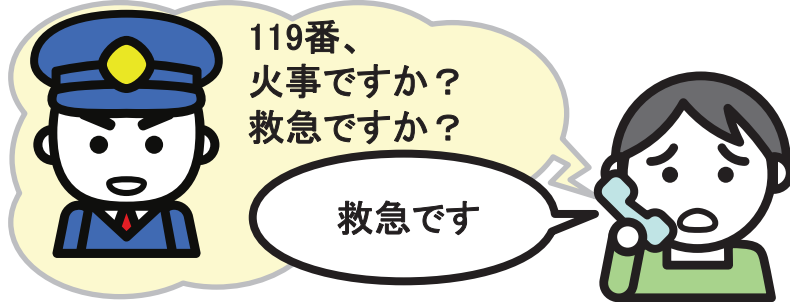
◎その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

※小学生以下のこどもで、発熱等の症状がある場合は、新型コロナウイルスに関する受診・相談センターに電話相談するか、速やかに発熱外来／かかりつけ医／地域外来・検査センターを受診しましょう。

※さらに、判断に迷った時は、お近くの電話相談窓口にご相談下さい。子ども医療電話相談（主に休日・夜間）は#8000、119番通報の相談は#7119をご利用いただけます。

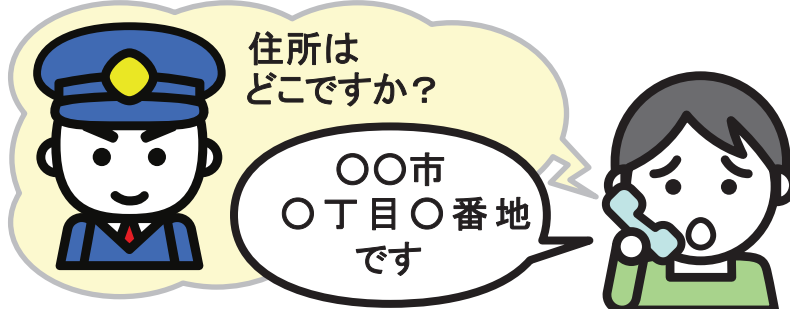
救急車の呼び方

119番通報をすると、指令員が救急車の出動に必要なことを、順番にお伺いします。緊急性が高い場合は、すべてお伺いする前でも救急車が出動します。
あわてず、ゆっくりと教えてください。



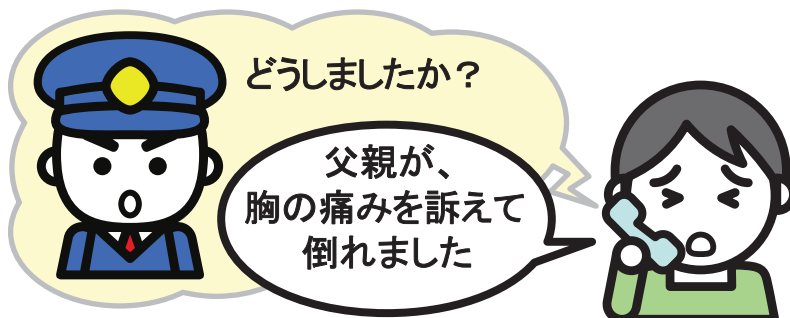
1 救急であることを伝える

119番通報をしたら、まず「救急です」と伝えてください。



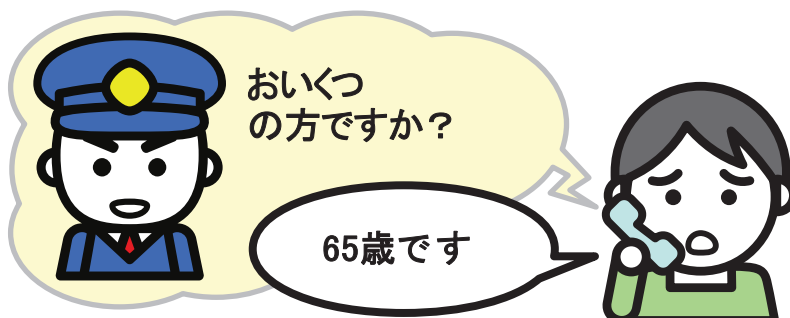
2 救急車に来てほしい住所を伝える

住所は、必ず、市町村名から伝えてください。住所が分からない時は、近くの大きな建物、交差点など目印になるものを伝えてください。



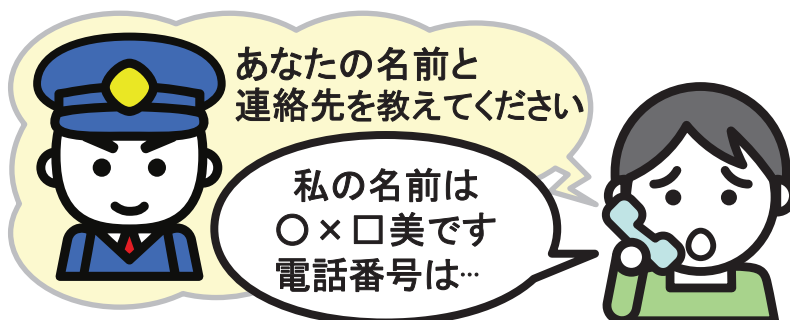
3 具合の悪い方の症状を伝える

最初に、誰が、どのようにして、どうなったと簡潔に伝えてください。また、分かる範囲で意識、呼吸の有無を伝えてください。



4 具合の悪い方の年齢を伝える

具合の悪い方の年齢を伝えてください。分からない時は、「60代」のように、おおよそでかまいませんので伝えてください。



5 あなたのお名前と連絡先を伝える

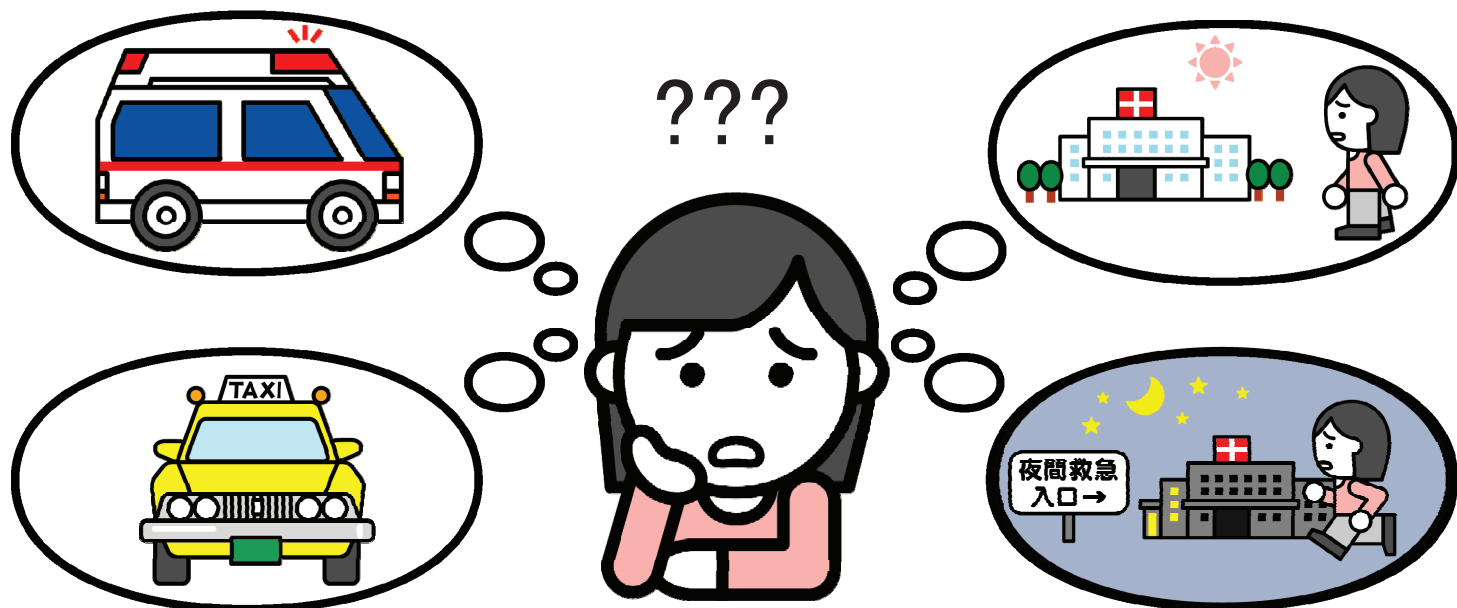
あなたのお名前と119番通報後も連絡可能な電話番号を伝えてください。場所が不明な時などに、問い合わせることがあります。

※その他、詳しい状況、持病、かかりつけ病院等について尋ねられることがあります。答えられる範囲で伝えてください。

※上記に示したものは一般的な聞き取り内容です。

判断に迷ったときは、お近くの救急相談窓口

急な病気やけがをしたとき、救急車を呼んだほうがいいのか、自分で病院を受診すればいいのか、どこの病院に行けばいいのか迷うことがあります。



そのような時には
お住まいの都道府県や市町村に救急相談窓口がありますので**ご相談ください**。

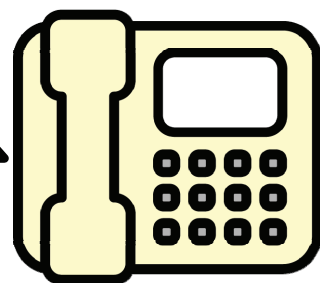
例えば、次のような電話相談窓口があります。(令和5年7月現在)

#7119 救急相談センター(東京都)

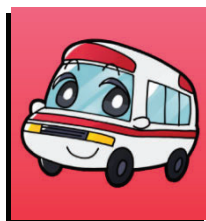
救急安心センター(札幌市周辺、宮城県、福島県、茨城県、
埼玉県、横浜市、新潟県、南アルプス市、岐阜市周辺、
京都府、大阪府、神戸市周辺、奈良県、田辺市周辺、鳥取県、
広島市周辺、山口県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県)

#8000 子ども医療電話相談

※各都道府県に窓口があります。



全国版救急受診アプリ「Q助」



・消防庁が作成した「Q助」は、急な病気やけがをした時に、病院に行くタイミングや救急車が必要なのか判断に迷った場合に、症状を画面上で選ぶだけで、緊急度に応じた対応を支援するアプリです。

・アプリは**無料**で公開しています。

〈大阪大学医学部附属病院の協力を得て作成しています。(特許第 6347901)〉
総務省消防庁「Q助」案内サイト

https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app.html

